



梅雨末期の激しい雨が続き、水遊びもなかなかできません。ぴかっと晴れたお天気が恋しいです。

6月21日は夏至でしたが、今年は日の入りが一番遅いのは何日か先だったということです。本格的な夏が来るのはこれからなのに、この日を境にだんだんと日の入りが早まってくるのは不思議な感じがします。

さて、幼稚園では担任が織姫と彦星のお話を子供たちに読み聞かせ、七夕飾りの製作に取り組んでいます。明治時代以降、新暦にかわり梅雨真ただ中の『七夕（7月7日）』となってしまいました。子供たちにはそんなことは関係ないので、真剣にお話を聞き楽しそうに七夕飾りを作っていました。さくら組は一人用の笹に飾りと短冊をつけ持ち帰りました。にじ組は大きな竹に付けて飾ります。大きな竹にたくさん飾りを付け外に飾るのは、ご先祖が7月13日のお盆に家に帰る目印としたという説もあります。（もともとのお盆は7月13日で、8月13日は1か月遅れ）七夕とお盆は本来一連の行事です。

笹に願いと飾りを付けました。→

幼稚園では大きな竹の七夕飾りは7日を過ぎたら園庭で燃やします。



西部教育事務所指導訪問を終えて

鳩山幼稚園長 岡部 玲子

鳩山幼稚園は公立の幼稚園なので小学校や中学校と同様に、2年に1回、西部教育事務所と町の教育委員会から指導主事の先生方が幼稚園を訪問し、園経営の様子や各クラスの保育の様子を視察します。視察後、さらなる質の向上のため全員で研修会を行います。（西部教育事務所指導訪問）今年度は6月17日（木）がその日にあたっていました。

○さくら組は

- ・ 絵具で描く心地よさを感じる。
- ・ 気持ちを開放して思い思いに描く楽しさを感じる。

というくねらい>で大きな紙に絵の具で、思い思いに描き一つの作品にしました。お天気が良かったので子供たちは園庭でのびのびと活動できました。



○にじ組は

- ・ 作りたい車のイメージを膨らませ、工夫したり試したりしながら車製作を楽しむ。
- ・ 製作に取り組む中で、自分の思いを言葉で表現していく。

というくねらい>でこの日の活動ではゴムタイヤと空き箱や様々な材料を使って車を製作しました。この時間の製作に至るまでに自分の作りたい車をイメージし絵に表したり、製作の意欲喚起のための導入として絵本「てつたくんのじどうしゃ」の朗読を聞いたりしました。子供たちはどんどんイメージを膨らませ、思いを伝えながら、すてきな車を作り、走らせて遊ぶことが出来ました。

どちらのクラスも子供たちの、もっともっと製作していきたいという思いを形にしたり先生や友達に伝えたりし、意欲に溢れた活動となりました。



私（園長）からは幼稚園についての説明（現状や課題、園の活動内容、子供たちの様子や職員の研修、諸表簿等）をしました。西部教育事務所の指導主事の先生からは鳩山幼稚園の活動についてたくさんのお褒めの言葉をいただくことができました。

私たち教職員は今後も自信を持って保育の質の向上のため、鳩山幼稚園の教育を進めていきたいと思ひます。



活動の流れ〈7月〉

時 期	さくら 組	に じ 組
7月上旬	<ul style="list-style-type: none"> シャボン玉で遊ぶ。 大小色々なシャボン玉を作って遊ぶ。 年長組と七夕の飾りを作る。 <ul style="list-style-type: none"> 短冊に願い事を書いて飾る。 園庭で水遊びをする。 <ul style="list-style-type: none"> 自分で水着の脱ぎ着をする。 色水遊びや指絵の具で遊ぶ。 	シャボン玉で遊ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> 大きなシャボン玉を作る。 七夕飾りを作る。 <ul style="list-style-type: none"> 願い事を短冊に書く。 提灯や織姫彦星を作って飾る。 水遊びをする。 <ul style="list-style-type: none"> 指絵の具で遊ぶ 園庭で水鉄砲で遊ぶ。 プールの約束を守って遊ぶ。
7月中旬	<ul style="list-style-type: none"> 園庭で水鉄砲で遊ぶ。 プールでの約束事を知って遊ぶ 	ミニヒマワリの絵を描く。



ミニニュース

* 『ポット栽培ラディッシュ』…続きの栽培ありがとうございました。



6月10日に幼稚園で3株まで間引いたラディッシュのポットとヒマワリの種を10粒ずつお配りしました。何人かの保護者の方から「ひとこと感想」をいただきましたので紹介します。(一部抜粋 7/1 現在)

・青虫がおいしそうにはっぱを食べていました。水をあげすぎて枯れてしまいました。失敗してしまうかもしれませんがまた育ててみたいです。

・子供は思ったより世話をしませんが、親の方が楽しみ。

・10円玉位になったので美味しくいただきました。(一緒に配布された)ヒマワリも現在6本芽を出しています。

・ラディッシュを育ててみて、とても楽しかったと言っていました。ラディッシュがどういうものか分かったようです。

・(娘曰く)ラディッシュはお漬物にしたらピンク色になってかわいかったけど、食べたらすごく辛かった!

・スライスして試してみたが辛すぎた。塩をまぶすとそれほど辛くなくなりおいしかった。良い経験だったと思う。

たくさんの感想ありがとうございました。読んでいてとても楽しかったです。秋にまたチャレンジしたいと考えていますので、ご協力お願いします。

* 手遊びを親子で

幼稚園から借りてきた絵本を、お家でたくさん読み聞かせしてもらい、このような子供との触れ合いを通して、言葉の力や豊かな感性が身に付いてきていることを感じています。今度、このような子供との触れ合いの一つとしてちょっとした時間に一緒に手遊びをしみてはと思います。

幼稚園では子供たちと一緒にちょっとした時間にたくさんの手遊びをしています。例えば、担任が保育を始める前に、お帰りの時間の読み聞かせの前や後に、また、プランターや畑に苗や種をまいた後には大きく育つおまじないのように手遊びを付けて歌います。

お家でも親子で一緒にやってみると、子供たちはきっと喜ぶと思います。



小さな畑をよく耕して(^.^)
 小さな種をまきました
 ぐんぐん伸びて春になって
 小さな花が咲きました
パカッ!
 中くらいの畑をよく耕して~
 大きな畑をよく耕して~
 (^.^)
大きくなあれ! 大きくなあれ!
パワー注入!



＜6月＞ピジョっこフォト

＜ファームだより＞



ジャガイモ掘り



初収穫



初収穫



青い状態で枯れたキュウリ



黒大豆



ネギ、サトイモ、ヒマワリ



トゲが痛い!



3種類のジャガイモは豊作でした。それぞれの家庭に3、5キロずつ配布することが出来ました。皆さんから「美味しかった」の声を聞くことが出来ました。ミニファームのキュウリはたった1本の収穫で枯れてしまいました。ナスとピーマンは全員が持って帰ることが出来ました。ミニトマトはなぜかミニではなく普通の大きさになり、なかなか赤くなりません。畑の作物は今のところ順調です。でも、自然相手なのでどうなるか分かりません。



図書館訪問 お話を聞きます。



脱いだ靴が揃ってます



さくら組 折り紙教室



にじ組 折り紙教室



にじ組から車製作の成果発表へのお誘い



親子で七夕飾り



楽器遊び 発表会



走らせてみよう

＜保育参観＞昨年実施できなかった保育参観ですが、今年は見てもらえてよかったです。

*お願い 刊行物等で園児の写真を掲載させていただくことがあります。ご了承をお願いします。不都合な方は、幼稚園までお知らせください。

たくさんあそぼう！ さくらぐみだより



『出たいよーって言ってるよ。』



帰りの支度をしている時のことです。

Aちゃんがコップを鞆にしまい忘れていることに気がついたBちゃんが、Aちゃんにコップの入っているカゴを持って「(コップが) 出たいよーって言ってるよ。」と優しく教えてくれました。するとAちゃんは、えへへという様子で、コップをしまいました。教師は、Aちゃんに「コップさんカゴから出してもらってなんて言ってた？」と聞いてみると、「嬉しいって言ってる。」と答え、張り切って支度を進めていました。



上履きや靴が脱いだままになっていると、「上履きさんが寂しがってるよ。」とよく声をかけたりしています。すると、子供たちは「あ！そうだった。」という様子で上履きを取りにきます。帰り支度の時には、教師がコップ袋を持って「お腹が空いたよ〜パクパク。」と袋の口を開け閉めすると、子供たちは喜んでコップを袋の中に入れます。物に気持ちがあるように関わることで物を大切に扱う気持ちにつなげていきたいと思っています。教師がしているように、BちゃんがAちゃんに優しく教えている姿に嬉しく思いました。これからも、このような関わりを大切に過ごしていきたいと思っています。

にじいろ

「優しくできるのがにじ組
我慢できるのがにじ組」



「先生、隣で一緒にお弁当を食べよう」とAちゃんが私を誘いにきてくれました。その日は、先に他の子と食べる約束をしていたので、理由を話して「ごめんね、明日一緒に食べようね！」とAちゃんに伝えると、「やだ！今日がいい！」とAちゃんはちょっぴり怒って頬っぺたを膨らませました。すると、隣で私たちの会話を聞いていたBくんが、「我慢できるのが、にじ組なんだよ」とAちゃんに声を掛けました。「ちがうよ！（さくら組に）優しくするのがにじ組なんだよ」とAちゃんが答えます。Aちゃんは、B君とどんな風にできたらにじ組らしいのかを話しているうちに、気持ちが切り替えられたようで、最後は「じゃ、先生、明日一緒に食べようね」と声を掛けてくれました。子供たちの心の中には、それぞれのなりたい『理想のにじ組像』があるようです。



4月からスタートしたにじ組の生活の中で、「もうにじ組なんだから」という言葉を子供たちが口にするのを何度も耳にしてきました。この3か月、大きい組としてさくら組のことを気かけたり、幼稚園では、1番のお兄さんお姉さんとして意識しながら生活したりする中で、子供たちなりに、どのような年長さんになりたいのか、具体的なイメージが膨らむようになりました。「友達（小さい子にも）に優しくする」「我慢できるように頑張る」「喧嘩をしても、また仲良くなれるようにする」「最後まで頑張る」など、遊びや活動の中で、涙したり、喧嘩したり、いろいろなことが起きた時に、自分たちのなりたい姿を思い浮かべて、頑張ろうとする姿が見られるようになってきました。まだまだ、立派なにじ組になれるようにクラス皆で修行中ですが、自分の思いを十分に出しながら、なりたい理想のにじ組さんに近づけるように、私も全力で応援していきたいと思っています。